

生命に関する倫理委員会 議事摘録

日時 令和元年9月24日(火) 17:00~17:30
場所 大学本館 3階 第3会議室
出席 中島、山本、鷹野、井田、益守、北村、岸川、堀江、三好
欠席 西原、渡邊
陪席 麻生、氷室(産学官連携推進室)

【審議事項】(2件)

1. 研究番号 413

標 題 乳房外Paget病の分子病理学的検討
申 請 者 病理学講座 教授 矢野 博久
説 明 者 病理学講座 講師 小笠原 幸子、大学院生 南里 文

審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ審議の結果、承認された。

〔修正後承認〕

1. 計画書 7-1. 具体的手順 について
研究予定に即し、“遺伝子変化”と記載の2ヶ所についてそれぞれ“遺伝子発現変化”と“遺伝子配列変化”へと具体的な内容に修正すること。
2. 計画書 15. 遺伝情報の開示および遺伝カウンセリング について
研究予定に即し、“子孫に受け継がれない腫瘍細胞の体細胞変異のみ”の箇所を“子孫に受け継がれない腫瘍細胞の遺伝子発現”に修正すること。

2. 研究番号 414

標 題 アーカイブ組織を使った肺腫瘍における病変部、非病変部の網羅的検索を用いた包括的研究による日本人における病因の解明と人種間による治療感受性の違いの検討
申 請 者 内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門) 准教授 富永 正樹
説 明 者 内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門) 准教授 富永 正樹

審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ審議の結果、承認された。

〔修正後承認〕

1. 申請書 審査分野 について
研究内容に即し、“子孫に受け継がれ得るゲノム又は遺伝子に関する研究”にチェックを追加すること。
2. 計画書 7-1. 具体的手順 について
研究予定に即し、共同研究機関との試料等の授受方法を含め、本学での研究実施手順についての記載に改めること。
3. 申請書および計画書 遺伝情報の開示および遺伝カウンセリング について
研究内容に即し、計画書について、遺伝情報を取り扱う旨と遺伝カウンセリングの有無の2点を記載するとともに、申請書のチェックも適宜修正すること。

【報告事項・確認事項】(各1件)

- ① 迅速審査報告
事務部より、別紙に基づき、迅速審査の報告が行われた。
- ② 委員会開催に係る危機管理への対応について
事務部より、学内規程に基づき、委員会開催の要件について再確認が行われるとともに、第4号委員枠にて、当委員会から本学法学部長へ1名の追加選出をお願いすることの提案が行われ、了承された。